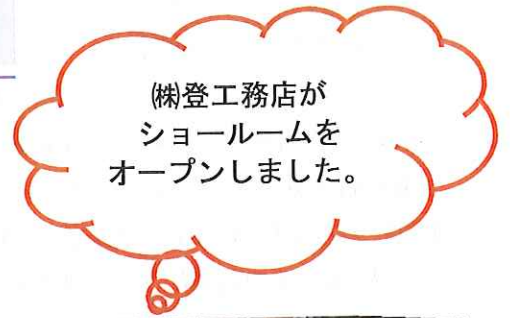


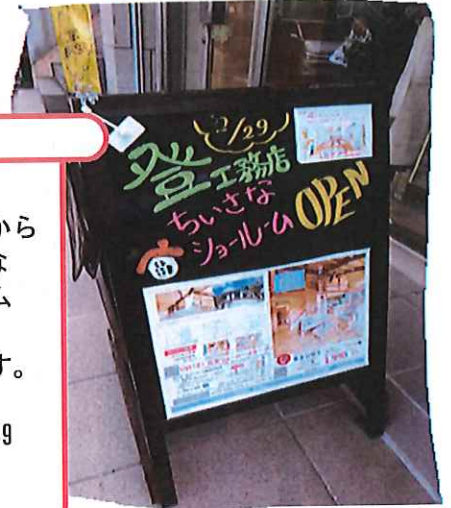
建設コープおおさか

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-8-9
<http://www.kensetu-co-op.com> 電話:06-6533-1675



2/29 (土)から
 江坂のちいさな
 ショールーム
 予約の上
 ご来店願います。

06-6332-9139



建設コープおおさかのお知らせ

1月の行事報告

1月14日(火)18:30~21:00

梅田の権之助にて

新年会を開催いたしました。

参加人数：8名

新型コロナウイルス感染症の拡大 防止に向けた対応について

大阪府は、「大阪府新型コロナウイルス対策本部」を設置し、関係部局で情報共有するとともに、医療機関や関係機関と連携し、感染防止に向けて取組を進めているそうです。

手洗いの励行や咳エチケットの徹底など、職場や施設等における感染拡大防止策と発熱等の風邪の症状が見られるときの休暇の徹底などについても 宜しくお願い致します。

限定3棟
モニター
募集!

モニターキャンペーン
発表説明会 ③3/7(土) ④限定5組様 ⑤組様

～無垢の家 勉強会～
 ひとに優しい
 無垢の大空間を
 特別価格で

1階 19.5坪+ロフト6坪 (税別)
1,990万円

※ご応募には条件があります。詳細は資料をご覧ください。

TEL:06-6332-9139
 住所:豊中市二見町2-5-9

暮らしパートナー 株式会社 登工務店

ただの平屋ではありません
 [5X4 PLAN] 1F19.5+LOF6坪

モニター特典
 オリジナル家具
 100万円相当
 プレゼント!

ダイニングセット ソファセット など

2/29(土) 江坂ショールームオープン
 ご予約の上ご来店願います ご来店先着15名様にはお品進呈

モニターキャンペーン発表説明会
 ③3/7(土) 10時～12時30分
 ご予約の上3月末までにショールームにて
 ご商談の方もキャンペーン対象です。

④⑤ 限定5組様 ⑥組様

江坂ショールーム
 ところ 吹田市江の木町8-23

お申込みはお電話で TEL.06-6332-9139 ← (ご予約先) →

暮らしパートナー 株式会社 登工務店

「私の徒然なるままに」

徒然なるままにと言う事で、お題にしましたが日頃 目にしたこと聞いたことに関して私の目線で書き綴ります。さて元号が「令和」に変わり、天皇の御退位御即位の儀式も無事に終え、早くも令和 2 年になりました。中国の武漢から発生し、新型コロナウイルスが世界へ蔓延しようとしています。遠い世界の話だと思っていましたが、もう身近な問題になろうとしています。私のお客様の会社に訪問した時のことですが、入口の守衛室前に消毒液とマスクが置いてあり、会社に入るには手の消毒と、マスクをしなければ入れない規則が早速取り入れられており、本当にもうここまでやってきたかと驚きました。観光大国を目指す我が国で、外国人観光客 4000 万人を目標にしていますが、この数字に少し陰りが見えてきた感です。インバウンドがもたらす経済効果が大きいと言われていますが、いったいそのお金とやらはどこへ消えて行っているのか疑問に思っているのは私だけでしょうか？（全く建築には関係ない感じがします）令和の時代 世界が平和で幸せでありますように、願うばかりです。

さて、早くも令和 2 年 2 月梅の咲く季節です

歴女として有名な白駒妃登美さんが「梅花に宿る予感」というタイトルでエッセイを紹介しています。元号「令和」に決まり「万葉集」をこよなく愛する彼女は、まるで心に梅の花が咲き香っているかのように、清々しく、温かい気持ちになっているそうです。時に天平 2 年（730）場所は大宰府 大伴旅人（おおとものたびひと）邸宅に招いた人々と梅を愛で、祝宴を開きその時に読まれた 32 首に旅人が序文を添えました、そこには「時に初春の令月（れいげつ）、氣淑く風和（きよくかぜやわらぐ）」と書かれていました。私は「令和」という言葉があったのかとおもいきや歌の中の令月と和らぐから引用されたのを知りませんでした（笑）。

万葉集に収録されたこの一節が新元号の出典です。日本独自の元号が、大化の改新で有名な「大化」から始まって「平成」まで 1300 年以上続くわけですが、なぜ長い間 中国の古典から出典していたんですかね！

彼女は新しい元号に対して なんと希望にあふれた元号なのでしょう、日本人らしく誇りを持って、美しく生きていきなさいって先人達から背中を押されているような気がしますと記しています。

この時に旅人が詠んだ歌が「我が園に 梅の花散る ひさかたの 天より雪の 流れ来るかも」（私の庭に梅が散っている。あたかも天から雪が流れ来るかのようだなあ）です。実は梅の木は もともと日本にはなく、中国 唐から持ち込まれたもので 今現在日本の花と言えば、桜をイメージする人が多いと思いますが、奈良時代にポピュラーで人気があったのはむしろ梅だったそうです。

およそ 4 500 首を数える「万葉集」の歌の中で、桜が詠まれたのは 40 首 梅は 100 首を超えています こういった事からも、春の花は梅の花の方が、人気があって愛されていた訳です。

当時は何故梅なんだろうか？？？ ここに日本人の心があるんだそうです。

彼女は、一年で最も寒い時期に咲く梅を、春の季語にした日本人の感性って素敵だと、夜明け前が一番暗い言われますが、それと同じで、最も寒い時期に咲く梅の花を見ると、春の訪れがもう目の前に来ていると感じる気持ち、あと少し我慢すれば、待ち焦がれていた、暖かい春がやってくる あと少し我慢、辛抱すれば、待ちに待った春がやってくると感じる喜びを味わっているのでしょう。

つまり、幸せから一番遠いように見えるところに 幸せの予感が、もうすでに宿っていると言う事なのです。そう感じ取ってきたのが私たち日本人の感性なんだと！彼女は最後にこう締めくくっています。

もし今 幸せでないと感じている方がいらしたら、私はこう言ってあげたい「幸せは、もう始まっていますよ」と

